

果実肥大は満開後日数で比較するとやや小さいです。黒星病の発生が多くなっているため、防除を徹底しましょう。6月3日に東葛飾地域を中心に降ひょうがあり、果実や葉が損傷する被害がありました。

## 【気 象】

### ■気象条件

5月の日平均気温は、第1半旬は平年より1.4℃低くなりましたが、第3半旬及び第6半旬は1℃以上高く、月平均では平年並でした。降水量は平年を上回りました。日照時間は平年並でした。関東甲信は6月6日に梅雨入りが発表され、6月第2半旬は平年より気温が低く、日照時間は平年を大きく下回りました。

表1. 令和4年5～6月の気象（アメダス佐倉）

月	半旬	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月	1	15.2	16.8	16.6	21	13	16	41	39	31
	2	16.8	18.8	17.1	14	8	19	24	35	29
	3	19.2	18.1	17.6	63	3	22	11	26	28
	4	17.8	20.0	18.2	12	22	23	27	3	30
	5	19.2	21.0	19.0	7	7	22	32	23	30
	6	20.9	20.1	19.6	32	43	23	39	39	35
5月平均/計		18.3	19.2	18.1	148	95	127	173	165	179
6月	1	20.5	21.0	20.0	15	16	19	37	25	27
	2	17.8	22.5	20.4	25	2	23	6	38	24

注) 平年は平成3年～令和2年の30年間の平均

## 【生育状況】

### ■果実の肥大

6月10日の果実の大きさを満開後日数の横径の平年値で比較すると、「幸水」では平年と比べ農林総研が91%、市川市が93%といずれも小さくなりました（表2）。「豊水」では平年と比べ、農林総研が96%、鎌ヶ谷市が97%といずれもやや小さくなりました。

表2. 基準調査園における生育調査の結果（6月10日）

品 種	調査地	樹 齢	横径（cm、%）			縦径（cm、%）			着果数 個/樹
			果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後	
幸 水	農林総研	15	3.14	(76, 94)	(91, 91)	2.68	(77, 93)	(91, 90)	316
	市川市	35	3.60	(95, 106)	(106, 93)	3.20	(99, 109)	(108, 97)	並
豊 水	農林総研	40	3.41	(84, 100)	(96, 96)	3.14	(84, 100)	(96, 96)	677
	鎌ヶ谷市	36	3.56	(90, 103)	(103, 97)	3.34	(91, 104)	(103, 99)	並

注) 横径及び縦径の( )は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

### ■作柄の予想

満開後50日の果径（農林総研）から予測される「幸水」の収穫果重は272gで、平年の88%と小さくなっています。

「豊水」のみつ症は、満開後 91～100 日の日最高気温の平均値が低い年に多発する傾向にあります。農林総研では7月9日～7月18日がその期間に当たるので留意が必要です。

気象庁（6月11日発表）の1か月予報によると、今後も曇りや雨の日が多くなる見込みです。気温は平年並かやや高く、降水量と日照時間は平年並と予想されています。

## 【栽培管理のポイント】

### ■仕上げ摘果の実施

「幸水」では、極小果や裂果を7月中旬頃に摘果しますが、黒星病発病果や変形果などは見つけ次第摘果します。他の品種についても変形果などは早めに摘果します。

### ■新梢管理

樹冠内部が混雑して日光の透過が悪い場合は早急に誘引や摘心などで対処します。新梢を過度に間引くと樹勢や果実肥大に悪影響が出るおそれがあるので注意します。「幸水」の予備枝は、6月中下旬に予備枝ごと倒し、先端から伸長した新梢を仰角20～30度になるように誘引します。

### ■灌水・排水

灌水は土壌が乾燥する前に始めます。砂質土では5～7日間、その他の土壌では10～15日間まとまった雨がないうちに、10a当たりそれぞれ15t、20～30t灌水します。一方、梅雨の後半には集中豪雨が起りやすいので、水はけの悪い圃場では明渠などによる排水対策を行います。

### ■病虫害対策

千葉県（6月15日発表）の病虫害発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、黒星病、シンクイムシ、ハマキムシがやや多、アブラムシが並となっています。黒星病のスス状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、園外に持ち出します。治療効果のあるDMI剤は連用すると耐性菌出現の可能性があるので、使用は年3回以内とします。

### ■ひょう害に対する事後対策

6月3日午後に、東葛飾地域を中心に降ひょうの被害がありました。被害樹の着果数は、被害状況に応じて加減し、傷が少ない果実を残すように摘果します。損傷が軽度の枝は残して、過度の新梢管理を控えて来年度の結果枝の確保に努めます。

表3. 協力調査地における生育調査の結果（6月10日）

品種	調査地	樹齢	果径(cm, %)		病虫害発生状況及び特記事項
			横径	縦径	
幸水	市原市	15	3.80 ( 86 )	3.30 ( 86 )	黒星病やや多
	木更津市	30	4.05 ( 90 )	3.41 ( 88 )	黒星病あり
	館山市	27	3.86 ( 97 )	3.41 ( 94 )	黒星病多
	印西市	24	3.92 ( 95 )	3.35 ( 96 )	黒星病あり
	柏市	19	3.83 ( 93 )	3.19 ( 92 )	黒星病あり
	いすみ市	39	3.52 ( 85 )	3.04 ( 91 )	
	一宮町	30	3.72 ( 89 )	3.20 ( 94 )	
	香取市	25	3.71 ( 89 )	3.34 ( 97 )	
豊水	八千代市	19	3.42 ( 99 )	3.21 ( 84 )	
	旭市	24	3.65 ( 93 )	3.25 ( 78 )	黒星病あり、ハマキムシあり
	香取市	18	3.59 ( 87 )	3.28 ( 86 )	黒星病あり（葉の軸）
あきづき	四街道市	9	3.45 ( 84 )	3.12 ( 82 )	
	鎌ヶ谷市	23	3.43 ( 88 )	3.36 ( 99 )	黒星病あり
	船橋市	11	3.84 ( 99 )	3.23 ( 97 )	
	松戸市	20	3.36 ( 85 )	3.20 ( 84 )	ひょう害なし
	いすみ市	13	3.19 ( 91 )	3.01 ( 95 )	

注) ( ) 内の値は、前年対比を記載。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>